

2 郡上下経第 6 9 号  
令和 2 年 4 月 2 1 日

郡山市上下水道事業経営審議会  
会長 中野 和典様

郡山市長 品川 萬里

### 上下水道事業のあり方について（諮問）

本市の水道事業、下水道事業及び農業集落排水事業の健全な経営を図るため、郡山市上下水道事業経営審議会条例第 1 条の規定に基づき、下記の事項について意見を求めます。

#### 記

##### 1 諮問事項

上下水道事業のあり方について

- ・水道料金及び下水道使用料等の算定について
- ・上下水道局資産の活用について
- ・その他諸課題について

##### 2 諮問理由

上下水道は、安全・安心な水の供給、公共用水域の水質保全、浸水被害の軽減及び生活環境の改善などを担い、快適な暮らしを守る重要な都市施設であり、市民生活や産業活動の向上に重要な役割を果たしております。

本市の水道事業は、明治 45 年に近代水道として豊田浄水場から給水を開始し、平成 30 年度末の上水道普及率は 96.0%に達しており、現在は将来の人口減少による水需要の減少を見据え、拡張から維持管理へと事業を大きく転換し、コスト縮減及び災害に強い水道施設の整備を計画的に進めているところであります。

また、下水道事業は、昭和 33 年より事業を進め、汚水処理においては平成 30 年度末の汚水処理人口普及率は 89.9%に達し、現在は地域特性、効率性、経済性を考慮した整備を進めているところであります。

雨水処理においては、平成 26 年 9 月に策定した「郡山市ゲリラ豪雨対策 9 年プラン」を着実に推進しており、昨年麓山調整池が完成し、一部供用を開始した麓山地区では内水被害が軽減されるなど、気候変動に起因する災害対策として効果を上げているところであります。

今後の上下水道事業には、人口の減少に伴う収益の減少が見込まれる一方、保有する施設の老朽化に伴う更新費用の増加や、遊休施設の活用、頻発する自然災害への対策、さらには影響拡大が懸念される新型コロナウイルス感染症への対応など、環境の変化に迅速に対応できる弾力性のある経営やその基盤強化における持続性の確保などが求められております。

つきましては、上下水道事業の経営について、多角的な視点から御意見をいただきたく、諮問するものであります。